

第4回リスクコミュニケーション講座

主催 日本化学会環境・安全推進委員会

日 時 平成19年2月16日(金)9時30分～18時10分
会 場 化学会館会議室(東京都千代田区神田駿河台1-5)
[交通]JR・御茶ノ水駅、千代田線・新御茶ノ水駅徒歩5分

趣 旨

日本化学会では「化学物質のリスクコミュニケーション」にかかわる調査研究を行い、化学物質による潜在的リスクの把握と、それに関わる関係者間のコミュニケーションのあるべき姿について検討を進めてまいりました。

PRTR 制度導入以後、リスクコミュニケーションという言葉がいろいろな分野で頻繁に使われていますが、きちんと系統立てて研修を行う機会は多くありません。また、事業活動にともなう社会的責任が叫ばれる中、民間企業のみならず、大学を含む各種試験研究機関や行政機関に至るまで、化学物質の環境安全や広報に関わる方々には、今までとは違った利害関係者とのコミュニケーションを図る知識・技能が求められています。そのため、化学物質のリスクコミュニケーションに関わる「基礎知識」、「多様な立場と考え方」、「実践」を学ぶことが重要です。

今回は、企業におけるリスクコミュニケーションの実践例を中心に、聴講者各位がそれぞれの職場ですぐに応用できる実際的な研修コースを目指しています。日本化学会という中立的立場から、化学物質の正しい知識・理解をもつ人材育成の場としてご活用戴ければ幸いです。

内 容

- 09:30-09:35 開会にあたって (東工大)中村 聡
- 09:35-10:35 リスクコミュニケーション概論 (環境情報コミュニケーションズ)大歳 幸男
- 10:40-11:40 化学会社の現場におけるリスクコミュニケーションのあり方とその課題
(関東学院大)織 朱實
- 12:40-13:40 電力・原子力関連会社における実践例
(電力中研・NPO HSEリスク・シーキューブ)土屋 智子
- 13:45-14:45 ゼネコンにおける実践例 (鴻池組)橘 敏明
- 14:50-15:50 実践活用ミーティング
- 15:55-16:55 自治体における実践例 (埼玉県)小野 雄策
- 17:00-18:00 化学物質のリスク評価 (日化協)花井 荘輔

参加費 本会会員・法人会員20,000円、非会員25,000円。

募集人員 30名(最少催行人員10名)

参加申込方法 「2/16第4回リスクコミュニケーション講座出席」と標記し、氏名・所属・連絡先住所・電話番号・FAX番号・E-mail・会員/非会員の別を明記のうえ、下記申込先あてE-mail (matsubara@chemistry.or.jp)にてお申し込みください。

申込先 日本化学会企画部 松原FAX03-3292-6318 E-mail matsubara@chemistry.or.jp

問合せ先 日本化学会企画部 保倉TEL03-3292-6163 E-mail hokura@chemistry.or.jp